



2025年度 東北地理学会 春季学術大会 プログラム

(東北大学大学院環境科学研究科 共催)

1. 期 日 2025年5月17日(土)～18日(日)
2. 会 場 東北大学大学院 環境科学研究科 本館(2～4階)
〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
3. 日 程

	第一会場			第二会場		
	時刻		発表番号	時刻		発表番号
5月17日(土)	09:20～11:48	研究発表(人文①)	111～116	09:50～11:48	研究発表(自然①)	121～124
	11:48～13:20	昼休み		11:48～13:40	昼休み	
	12:00～13:00	評議会				
	13:20～16:28	研究発表(人文②)	211～217	13:40～16:28	研究発表(自然②)	221～226
	16:40～17:40	総会				
	18:00～20:00	懇親会 ※場所は下記参照				
5月18日(日)	09:30～11:58	研究発表(共通)	311～315			

4. 懇親会
日 時 5月17日(土) 18:00～20:00
会 場 みどり食堂(青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ内)
会 費 6,000円(学生・院生 2,000円)
※ 当日、大会受付または懇親会受付にて、現金でお支払いください。
5. 交 通
仙台市営地下鉄 東西線 青葉山駅 南1出口 徒歩約3分
(仙台駅から乗車9分, 250円)
アクセス方法(環境科学研究科webページ)
<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/access.html>
6. 宿 泊
仙台市内のホテル等をご利用ください。
7. 昼 食
大学構内のコンビニ等が利用可能です。
※日曜日は最寄りのコンビニが休業のため、持参されることをお勧めします。

① 5月17日(土) 午前

第一会場（人文分野） 発表：09:20～11:48

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者（所属）	題目
111	9:20	S 12分	P	岩動志乃夫 (東北学院大)	品田誠司(東北福祉大)	災害後のアントレプレナーの行動と事業戦略
112	9:40	S 12分	P		中嶋紀世生*(東北大)・増田聡(東北大)・柳津英敬(東北大)・稲葉雅子(東北大)	東日本大震災後の河川空間再編による地域再生の地理的効果—かわまちづくりの事例分析
113	10:00	S 12分	P		庄子凜(京都大・院)	岡山県倉敷市真備町における平成30年7月豪雨前後の住民属性変化
114	10:20	L 20分	P	磯田弦 (東北大)	山口泰史*(帝京大)・松山薫(武庫川女子大)	映画「007は二度死ぬ」ロケ地の地域づくり（続報）—鹿児島県南さつま市秋目を例に—
115	10:50	L 20分	P		堀本雅章(法政大沖縄文化研究所)	沖縄県竹富町鳩間島における観光の特色—2023年と2015年の調査を比較して
116	11:20	L 20分	P	遠藤尚 (東北学院大)	埴淵知哉*(京都大)・堀川泉(京都大・院)	クラフトビール醸造所の地域的役割—サードプレイスと社会的健康の観点から

第二会場（自然分野） 発表：09:50～11:48

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者（所属）	題目
121	9:50	L 20分	P	西城潔 (宮教大)	古市剛久*(宮城教育大)・八反地剛(筑波大)	2024年7月梅雨前線に伴う大雨で発生した出羽山地周辺での斜面崩壊 Landslides around the Dewa mountains in the 2024-07 Baiu heavy rainfall
122	10:20	L 20分	P		宮城豊彦(東北学院大・名誉、地域情報カスタマイズユニット)	2008年岩手・宮城内陸地震で生じた荒砥沢地すべり移動体のスベリ面・物質・地表変形構造の一体的把握
123	10:50	L 20分	P	古市剛久 (宮教大)	古谷尊彦((株)日さく)	活褶曲山地の切土斜面に生じた地形過程
124	11:20	L 20分	P		檜垣大助*(日本工営)・柿沼隼人(弘前大・院)・鄒青穎(弘前大)・川上礼央奈(岩手大・院)・S. C. Amatya(NDRI)	ネパールにおける低コスト砂防工法の施工20-25年後の状況

② 5月17日(土) 午後

第一会場（人文分野） 発表：13:20～16:28

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者（所属）	題目
211	13:20	S 12分	P	埴淵知哉 (京都大)	三原昌巳(跡見学園女子大)	神奈川県における診療科別受療行動と健康管理の地域差
212	13:40	S 12分	P		山田浩久*(山形大)・山田大貴(島根大)	三次医療圏間のアクセスから見た医療観光の課題
213	14:00	L 20分	P		山田大貴*(島根大)・山田浩久(山形大)	都道府県間の旅客純移動流に対する多層ネットワーク分析
214	14:30	L 20分	P	山田浩久 (山形大)	菅井翔(東北大・院)	Node-Placeモデルを用いた新幹線駅の評価
215	15:00	L 20分	P		西原純(元静岡大)	1992年就業構造基本調査による就業者の所得分析とその方法の再検討
216	15:30	L 20分	P	山口泰史 (帝京大)	中尾太一*(東北大・院)・磯田弦(東北大)・関根良平(東北大)・中谷友樹(東北大)	市町村合併による雇用・事業者数の地域格差拡大の検討
217	16:00	L 20分	P		阿部隆(元日本女子大)	仙台市丘陵部のOuter Transitional Area

第二会場（自然分野） 発表：13:40～16:28

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者（所属）	題目
221	13:40	S 12分	P	澤田康徳 (東京学芸大)	高橋信人(宮城大)	夏季モンスーン期における日本付近の前線帯変動に対応する循環場の半月変化
222	14:00	L 20分	P		小元久仁夫(元日本大)	アルプスの氷河の地球温暖化による後退
223	14:30	L 20分	P	発表辞退	小松原琢(琵琶博)	活動初期の収束境界としてみた日本海東縁の活構造
224	15:00	L 20分	P	大月義徳 (東北大)	北村繁*(新潟大)・村野正景(静岡大)	火山ガラスのWD S分析からみた土器製作への火山灰利用～中米・エルサルバドル, チャルチュアバ地域のウスルタン様式土器の分析事例～
225	15:30	L 20分	P	伊藤晶文 (東北学院大)	阿子島功(元山形大)	5m格子DEMを用いた詳細地形分類図(1)
226	16:00	L 20分	P		西城潔(宮城教育大)	教員志望の学生に地形発達史をどう教えるか

③ 5月18日(日) 午前

第一会場（共通分野） 発表：09:30～11:58

発表番号	開始時刻	発表時間	機器	座長	発表者（所属）	題目
311	9:30	L 20分	P	村山良之 (東北大)	田中文理(東北大・院)	被災地における地域アイデンティティ —名取市閑上地区を事例に—
312	10:00	L 20分	P		櫛引素夫(青森大)	青森市における雪対策の現状と課題をめぐる論点整理
313	10:30	L 20分	P	水本匡起 (東北福祉大)	岩船昌起(鹿児島大)	鹿児島市における桜島大噴火への自主防災組織の備え
314	11:00	L 20分	P		後藤丞*(岩手県立千厩高)・澤田康德(東京学芸大)	進路多様校における大雨災害に関する情報活用および意識の関係
315	11:30	L 20分	P		八木浩司(深田地質研)	ネパール中部低ヒマラヤ帯に対する地すべり地形分布図の作成とその意味

※研究発表 L：発表時間20分＋質疑時間8分 S：発表時間12分＋質疑時間8分 *：口頭発表者
P：プロジェクター使用